

第2学年 道徳学習指導案

日時 平成23年 9月30日(金) 5校時
学級 2年3組(男子15名, 女子21名 計36名)
授業者 奥州市立東水沢中学校 菅原 瑠里子

1 主題名 家族の一員としての自覚と敬愛の念 【4-(6) 家族愛】

2 資料名 母は優し そして— (学研「かけがえのない きみだから」)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

本時の授業は内容項目4-(6)「父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く」に基づいて指導するものである。

生徒たちは今、周りにいる様々な人との関わりの中で日々、様々な刺激を受けながら大きく成長している過程である。生徒たちの成長には様々な人の存在を欠かすことはできない。実際に生徒たちの日常生活に目を向けると、一番身近な存在である家族について改めて考える機会は少ないのではないかと考えられる。そこで、今日の自分があるのは祖父母や父母がありそのかけがえのない子どもとして深い愛情をもって育てられたからであることに気づかせることが大切である。親の愛情に気づかせることを通して、自分の成長を願い、無私の愛情をもって育ててくれた父母や祖父母に対して敬愛の念を深めさせたいと考えている。家族を構成する成員相互の温かい信頼関係や愛情によって互いが深い絆で結ばれていることが大切であるということの自覚をもつことで、生徒たちが自分の家族の在り方について考える1つの機会としていきたい。展開後段では生徒一人ひとりへの保護者からの手紙を渡し、親からのメッセージや願いを知ることで、自分自身が家族にとってかけがえのない存在として、さらに充実した家庭生活を築こうとする気持ちを育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 生徒について

中学校生活3年間のちょうど折り返し地点を迎え、学校や学級生活にも慣れて充実した毎日を送っている様子である。体育祭後の家庭訪問では保護者の方の願いや日頃大切にしている考え方、生徒が小さい頃のエピソードなどを話していただき、子どもへの深い愛情と思いの深さを感じることができた。また、1学期末の三者面談においては保護者の方の我が子への率直で厳しくも温かい言葉に、我が子への期待や愛情、願いが込められていることを改めて強く感じた。生徒たちの反応は様々であり、素直に受け入れようとしている生徒がほとんどであったがつい反抗的な態度をとってしまう生徒もみられた。また、国語科では「盆土産」の学習を通して家族の優しさや温かさを読み味わう学習を行っている。

本授業を通して生徒1人ひとりの家庭生活を見つめ直し、日頃自分を支えてくれている家族についてじっくりと考える機会としていきたい。資料中の主人公「私」が感じた人間としての家族の優しさや深い愛情に触れることで、家族の一員として、家族への感謝の気持ちを持ち、充実した家庭生活を送っていくことができるよう指導していきたい。

(3) 資料について

この資料は母親の顔にあるヤケドのあとを嫌い、それを友達に見られたくない一心で、母親が学校に来ることを極度に嫌悪している主人公「私」の姿が描かれている。しかし、母親のヤケドの「本当の原因」が火事の中で必死に幼い「私」を助けるためにできた傷であることを知り、深い感動の中で、母親への感謝とこれまでの自分の母親への冷たい言動への後悔とで胸がいっぱいになる「私」の心情が描かれている。無私の愛情で娘に接する母親と、その母親の顔のヤケドのあとを「愛のしるし」として誇りに思う「私」の姿に家族の深い絆や愛情が感じられる感動資料である。

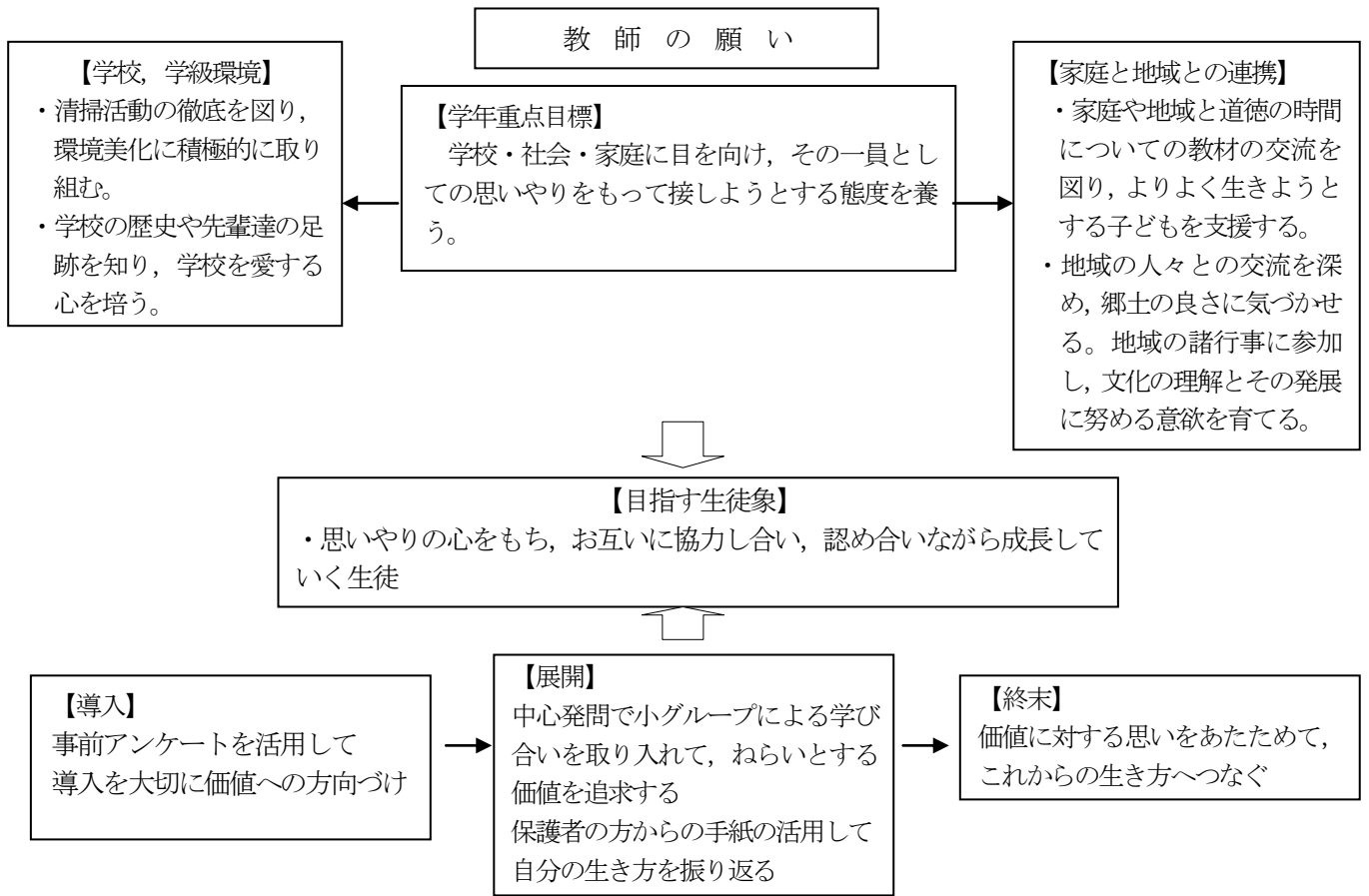
資料の後半でこの話の主人公である「私」が、母親のヤケドの「本当の原因」を知り、涙を流して泣いた場面について10数年もの間一度もヤケドの「本当の原因」を娘に語らなかった母親の思い、母のヤケドのあとを見るたびに心の中でありがとうとお礼を言っている父親の思いにはどちらにも一人娘久子を思う深い愛情があふれている。また、母親の気持ちをくんで、10数年もの間一度もヤケドの「本当の原因」を娘に語らなかった父親の思いにも気づいていけるよう指導していきたい。

4 研究主題との関連

研究主題を実現していくために、市松模様やコの字型隊型を取り入れ、お互いに向き合って主体的に学習に参加することで、自分の考えをもち、お互いの考えから学び合うようにしたい。生徒一人ひとりが語った発言やつぶやきを教師がつなぎながら授業を展開していくことで学級全体の学びを深めていくことを願いとしている。具体的にはコの字型隊型を取り入れて意見を出しやすい雰囲気の中で授業を開始したい。また、展開部分で4人グループを取り入れて、母のヤケドの本当の原因を知った私があとからあとから流れてくる涙をどうすることもできない気持ちを考えさせたい。

5 指導の構想

「人間として生きることに喜びを見いだそうとする心」を育成する指導の構想



[本時を要として位置づけた指導構想図]

月	特別活動・体験的活動	道徳の時間	各教科等の学習	日常活動・その他
7月	<p>〔生徒会活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒集会 ・歌集会 ・学年集会 <p>異年齢集団の交流 集団で創り上げる喜びと達成感を味わう。 学年への所属感を高める。</p>	<p>◇主題名 3-(1)生命の尊重 資料名「あなたに」</p> <p>ねらい 自分が今ここにいることの不思議さや生命の連続性に気づき, かけがえのない存在であることに誇りを持ち, 自他の生命を尊重しようとする心を育てる。</p>	<p>〔総合的な学習〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習 <p>人とのつながりと感謝の気持ち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の学級活動や教科の授業においてもお互いに意見交流する場面を大切にする。
8月				
9月	<p>〔学校行事・地区新人戦〕</p> <p>後輩と力を合わせ今までの練習の成果を出し尽くす。 中総体の課題を見つける。</p>	<p>◇主題名 4-(6)家族愛 資料名「母は優し そしてー」</p> <p>ねらい 深い愛情をもって育ててくれている父母への敬愛の念を育て, 家族の一員としての自覚をもち, 積極的に充実した家庭生活を築こうとする心を育てる。</p>	<p>〔国語科〕</p> <p>「盆土産」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人柄や心情などを考えることを通して, 人間や家族, 心のふれあいについて学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級通信を活用して1時間の授業から学んだことをお互いに共有し, 授業後も学び合う機会とする。
10月	<p>〔生徒会活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭活動 <p>自分の役割を果たす。 学級への所属感を高め, 豊かな心情を育成する。</p>			

6 本時の指導

(1) ねらい

深い愛情をもって育ててくれている父母への敬愛の念を育て、家族の一員としての自覚をもち、積極的に充実した家庭生活を築こうとする心を育てる。

(2) 展開

段階	時間	学習活動と主な発問	予想される生徒の発言や心の動き	指導上の留意点
導入	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の家族との関係を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達も家では親と言い争いをしているんだ。 ・ 親と意見が合わないこともあるけど、いつの間にかいつも通りに生活している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に行ったアンケートからいくつか紹介する。 ・ 中学生が主人公の資料を読んでいくことを確認する。
展開	展開前段 3分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料(前半部分)を読む。 ○母のヤケドのあとを大嫌いと思っている「私」をどう思いますか。 ○母が届けてくれた包みを乱暴にうばい取って、後ろも振り向かずに教室にかけこんでしまった「私」はどんな気持ちだったのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕方がない。もし自分でもそうってしまう。 ・ 言い過ぎだと思う。お母さんがかわいそう。 ・ お母さんを友達には見られなくなかった。 ・ あんなに学校に来ないでって言ったのに。 ・ 宿題を届けてくれたのは助かったけど…。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母のヤケドのあとを気に留めながらも、疎ましく思う気持ちを抑えきれずにいる「私」の心情を確認する。 ・ 自分の思いだけが先行して、母の思いに気づくことができずにいる「私」の自分本位な心情を確認する。
	2分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料(後半部分)を読む。 ◎あとから、あとから流れてくる涙をどうすることもできない「私」はどんな気持ちだったのだろう。 ○母の顔を美しいと思っている「私」はどんな気持ちになったのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お母さんに本当にひどいことをしてしまった。 ・ お母さんは自分が犠牲になってまで、自分のことを守ってくれていた。 ・ お母さんありがとう。そしてごめんなさい。 ・ 母の深い愛情に気づくことができた。 ・ 自分を守るために命懸けで助けてくれた母の強さを美しいと感じていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「私」の気持ちを読み取りながらも、父母が今までどんな気持ちで我が子を見守ってきたのか考えさせたい。 ・ 「私」が母の愛情に気づき、家族の愛を感じながら生きていこうとしている前向きな気持ちを確認する。
	展開後段 8分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親からの手紙を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ こんな気持ちで今まで育ててくれていたんだ。 ・ いつも自分を見守ってくれている親に感謝したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親が今までどんな思いで育ててきたかとこれからの願いやメッセージなどを生徒たちは胸にしてねらいに迫る。
終末	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の感想を書く。 ・ 感想を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親からの手紙を読んでみて普段気づくことができない親の気持ちを知ることができた。これから自分の家族について考えていきたい。 ・ 両親が久子を思う気持ちが伝わってきた。自分も親に感謝しながら生活していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習を個人で振り返ると共に、全体で共有し、学びを広げる。

7 資料分析表

資料「母は優し そしてー」 主題『 4－(6) 家族愛 』
ねらい

深い愛情をもって育ててくれている父母への敬愛の念を育て、家族の一員としての自覚をもち、積極的に充実した家庭生活を築こうとする心を育てる。

主な場面	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公「私」の様子 小学生の頃のこと 誕生日会のこと(過去) 	<ul style="list-style-type: none"> ・先月のこと、母が学校へ宿題を届けてくれるが、母のヤケドのあとを友達に見られたくない「私」 	<ul style="list-style-type: none"> ・夕飯が終わったあと 母のヤケドの本当の原因を私に話し始める父。 父の話を聞いて涙を流す「私」 	<ul style="list-style-type: none"> ・母の顔にあるヤケドのあとを誇りに思っている「私」
主人公の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・母親のヤケドのあとが気になっている。 ・母親のヤケドのあとが大嫌い、恥ずかしい。 ・友達に母親の顔を見られたくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お母さんが宿題を届けてくれてよかった。 ・お母さんの顔がみんなに見られてしまう。 ・「お化けみたいな顔でいつまでもいないでよ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ちっとも知らなかった。ちっとも知らなかった。 ・私が大きくなるまでにこんな出来事があったなんて…。 ・お母さんごめんね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母のヤケドのあとは今では私の誇り。 ・私への愛のしるし ・よそのどんなきれいな顔のお母さんよりも母の顔を美しいと思っている。
学習者の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・母親のヤケドのあとが大嫌いな私の気持ちも少しは分かる。 ・母親がかわいそう。 ・どうしてお母さんは、ヤケドしたのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母のヤケドのあとを友達に見られたくない私の気持ちも分かる。 ・母親がかわいそう。 ・私の母親に対する態度があまりにもひどい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去にこんな出来事があったなんて。 ・私は母の思いを知らずに母を悲しい気持ちにさせてしまった。 ・母親は我が子を命がけで守ろうと必死だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私は父と母に大切に育てられて現在まで成長してきた。 ・私はやっと父母の思いに気付くことができ、両親への感謝の気持ちをもつことができた。
意識の焦点化	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公の「私」が現在に至るまでずっと母親のヤケドのあとを気にしながら生活してきたことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼い頃から抱いていた母のヤケドのあとが大嫌いという私の気持ち が現在まで続いていることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母のヤケドの原因を今まで話さなかった父が今になって話した父の気持ちと、今まで話さないでほしいと言っていた母の気持ちを確認する。家族への思いが表れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・両親が深い愛情をもって大切に育ててくれたことに私が気付いたことを確認する。それと同時に母親の顔のヤケドのとらえ方が大きく変わったことを確認する。
主な発問	<ul style="list-style-type: none"> ・母のヤケドのあとを大嫌いと思っている「私」をどう思いますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・母が届けてくれた包みを乱暴にうばい取って、後ろも振り向かずに教室にかけこんでしまった「私」をどう思いますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あとから、あとから流れてくる涙をどうすることもできない「私」はどんな気持ちだったのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母の顔を美しいと思っている「私」はどんな気持ちになったのでしょうか。

